



はじめに

新年度が始まり、早くも1ヶ月が経ちました。もう1ヶ月とも感じますし、まだ1ヶ月しか経っていないのかと思うこともあります。子ども達も少しずつ新しい暮らしに慣れ、学園生同士の距離も縮まり、お互いのことを理解し始めている様子が見られます。同時に、自分自身の課題にも少しずつ気づき始め、それぞれが成長への一歩を踏み出しているところです。

今回のセンター期間中は、ゴールデンウィークということもあり、さまざまな活動を行いました。中でも、春の大切な仕事である田畑の活動では、疲れた表情を見せながらも最後まで一生懸命取り組み、作業を終えた後には、「終わったー！」と達成感いっぱいの笑顔を見せる子ども達。賑やかで時には大騒ぎしながらも、どこか憎めない、可愛らしい子ども達です。

これからも、一人ひとりの成長を近くで見守っていきたいと思います。

大田市山村留学センター
指導員 土本 愛果

活動カレンダー

4月24日(金)	センター入り	3日(日)	デイキャンプ
25日(土)	AM:親子ハイク PM:農家訪問	4日(月)	畑作業
26日(日)	代かき	5日(火)	午前:アトリエ公開イベント参加 午後:ババ引き
28日(火)	多根祭り前夜祭	6日(水)	田植え
29日(水)	午前:畑作業 午後:多根祭り本祭	9日(土)	裏山キャンプ ~10日(日)
5月 2日(土)	茶碗作り、温泉津散策、琴ヶ浜	11日(月)	農家入り

親子行事（親子ハイク・農家訪問）

4/25（土） 晴れ

GWは、3週間ぶりに再会した保護者と、多根地区の約5kmを散策する『親子ハイキング』の活動からスタート！この日は天気にも恵まれ、絶好のハイキング日和となりました。



この活動は、ただ歩くではありません。コース内に設置された、『ご当地クイズ』を解きながら歩きます。しかし、保護者の携帯を頼ることはできません。代わりに、地域の人を見つけては、分からない問題を教えてもらう子ども達でした。帰園後はみんなで答え合わせ。優勝した家族には豪華景品が贈られました。



親子ハイクが終わった午後は、子ども達が中心となり、お世話になっている農家さんの家まで、保護者を案内。保護者と各農家の皆さんが改めて挨拶を交わしました。普段の子ども達の様子について話したり、普段みんなが生活しているスペースを見たりなど、それぞれ充実した時を過ごしたようです。



代かき

4/26（日） 曇り



徳原にあるセンターの田んぼで代かきをしました。代かきは、ただ田んぼの中を歩くだけの作業ではありません。何度も細かく足を動かし、土を柔らかくほぐす作業です。この日は、保護者も参加！まだまだ水も冷たい季節ですが、素足で田んぼに入り、皆で1列になって進みました。「1・2，1・2」と掛け声をかけて足踏みを繰り返します。「冷たい！」「もう疲れた…」と弱音を吐く様子もありましたが、みんなで最後まで頑張りました。田んぼ全体を一通り踏み終えた後には、田んぼの中で、土地が高いところから低いところへ土を寄せる作業をして活動終了。



頑張った後は、恒例のお楽しみ時間ということで、田んぼの中で泥んこリレーを開催。保護者チームと学園生チームに分かれ、白熱した戦いとなりました。最後はみんな揉みくちゃになってはしゃいでいました。



佐毘売山神社春祭り 神楽奉納見学・例大祭 4/28・29 (火・水) 晴れ

28日は、佐毘売山神社(三瓶町多根)で春祭りの前夜祭が行われました。多根神楽団が神楽奉納をするということで、子ども達も見学へ。多根地区の初めての集まりに参加した為、子ども達も自己紹介をさせていただきました。神楽が始まると、初めてみる子も何度も見ている子も、真剣に見入っていました。客席まで飛び出てきた鬼や大蛇と触れ合えて嬉しそうな様子の子も。帰りの車の中でも「面白かったー!」「今年は何やる?」「私大蛇やりたい!」と、興奮冷めやらぬ様子でした。



29日の午後は、本祭に参加。神事を執り行う様子を見学させていただきました。厳かな空気に緊張した様子の子も。その後、御神幸にも参加させてもらい、子ども達は旗を持って、神輿と共に歩きました。普段は経験できない貴重な体験ができました。

茶碗作り・温泉津散策・琴ヶ浜 5/2 (土) 晴れ



温泉津焼きものの里へ行き、毎年恒例の茶碗作りを行いました。今回作った茶碗は、これから1年間使い続けます。自分で作ったものを大切に使うことで、『ものを大切に扱う』という習慣を身につけます。前日から「どんな茶碗にしよう?」と、この日を楽しみにしていた学園生。茶碗作りが始まると、みんな集中して取り組み、それぞれの個性があらわれたお茶碗と箸置きが完成。1か月後の焼き上がりが楽しみです。

茶碗作りの後は、温泉津漁港でお弁当を食べ、温泉津の街並みを散策しました。古き良き温泉街の街並みに、子ども達も興味深々な様子でした。散策も終わると、鳴き砂で有名な琴ヶ浜へ。波打ち際で波と遊ぶ子、砂で防波堤を作る子、石や貝を探す子、各々に海を楽しみました。最後にはみんなでビーチフラッグ対決!白熱した戦いとなりました。



デイキャンプ

5/3 (日) 雨



センターの裏山で今年度初めてのキャンプ活動をしました。念入りにミーティングを行い、裏山へ。この日は雨風が強かったのですが、裏山は周囲が木で囲われている分、外よりは雨風が穏やかな印象でした。また、朝から雨が降り始めたおかげで、薪はあまり湿っておらず、火おこしは予想よりも上手くいっている様子。

バディでお昼ご飯の豚汁とご飯を炊きました。継続生が上手に新入園生に竈の作り方から薪の集め方、火の着け方まで丁寧にレクチャーしていたので新入園生は良い経験ができた様子でした。



アトリエ公開イベント参加

5/5 (火) 晴れ

この日は地元で行われているアトリエ公開のイベントに参加してきました。羊の毛刈りを見学。その後ハサミで少し刈り取る体験をさせてもらってその毛は各自持ち帰りました。子ども達は、草を羊に与える餌やりも夢中になって行っていました。センターに戻った後はそれぞれ持ち帰った毛を教えてもらった方法で洗って干して大事に保管していました。



田植え

5/6 (水) 晴れ

今年も田植えの季節がやってまいりました！活動日は天気にも恵まれ春の陽気の中での作業となりました。



受入農家さんや推進委員の方々にご指導を仰ぎながら、約7畝の田んぼの約3分の2を手植えで、残りは田植え機を使って田植えをしました。矢田の父さんに田植えの仕方を教わり、みんなで田んぼに1列に並んで植え始めまし



た。何と、今年はOBも手伝いに来てくれました！

ババ引き(苗を植える目印をつける作業)も自分たちで行ったので、若干線がずれて植えにくい部分もありましたが、隣同士協力し合って何とか植えきりました。

大國の父さんと一緒に、田植え機の体験をした子達は「機械ってはやい！」「でもムズイかも…」と、手植えと機械の違いを実感した様子。広い田んぼでしたが、みんなで午前中のうちにすべて植えきることができました。作業後はみんなで田んぼの畔に座り、田んぼを眺めながらおにぎり弁当を食べました。



裏山キャンプ

5/9・10(土・日) 晴れ

デイキャンプに続き、2回目となるキャンプ活動です！今回はいよいよテントを使った1泊2日のキャンプ。炊事はバディとソロの選択制にしたところ、9人中7名がソロに挑戦しました。新入園生も、果敢に挑戦する模様。前日から、竹や木で道具を自作したり、山菜を採取したり、火起こしの練習をしたりなど、この日を楽しみに準備を進める学園生の姿が見られました。



初日の午前はテントの建て方を練習し、午後から裏山へ出発。歩いて3分もかからない距離ですが、キャンプの活動フィールドに到着し、一気にワクワクした様子の子も達。安全の確認をみんなでした後は、テントを建て、かまど作り、火おこし、調理と夕食に向け準備を進めます。

ソロを希望した学園生は、人と協力できない分、薪集めや調理の下ごしらえなど、先を見越しながら段取りよく作業を進めていきました。バディを組んだ子は薪集めや調理など役割を分担し、それぞれが協力して

作業を進めていました。

自分で拾った石英を火打石にして火おこしをする子や、竹でご飯を炊く子、三脚を作って竈の支えにする子、ブルーシートで寝床を作る子など、今回も見どころがたくさんありました。

夜は焚火を囲み、スモアという焼いたマシュマロで作ったおやつを食べながら楽しいひと時を過ごしました。この日は夜になるとかなり冷え、あまり眠れない子もいた様子。二日目の朝は、みんな震えて「早く火を点けたい！」と、早々に薪集めへ。朝食も自作し、片付けも最後までしっかりと行いました。



畑作業

春は畑作業がとっても忙しい季節！今回行った活動を紹介します。



野菜の苗を植えつけるための大切な準備『畝たて』をしました。2人一組になり、最初に指導員にお手本を見せてもらい、その後は継続生が新入園生に教えながら作業を始めました。真っすぐ同じ幅で作ることがなかなか難しく、何度か手直しをしながらもどの班も協力して立派な畝が完成。マルチを張る際には、マルチを引っ張る係と端を土で埋める係に分かれ、声を掛け合いながら行いました。



しかし、なかなか活動時間では全ての畝を立てることはできず…。隙を見つけてはみんなで頑張り、全部で22畝立てました。

電柵の支柱となっている竹が老朽化。折れてしまったので、みんなで竹取りに行きました。竹藪の中に分け入り、ちょうどよい太さの竹を切り倒します。中学生の継続生は、ナタで枝払いを担当してくれました。採取した竹を支えとし、鳥よけのテグスも設置。中学生3人と指導員1人が協力し合い、無事に畑全体に張り巡らせることができました。



学園生は、一人一畝自分だけの畑を持っており、これを『My畑』と呼びます。My畑は畝立てから始まり、作物計画、作物のお世話も全て自分で責任を持って行います。また、My畑を進める時間は、活動の中でとってあげられる時間ではありません。自分で時間を作り、コツコツ進める計画性が求められます。



植える作物の計画時には、農作物の本を読みながら「何を植えよう～?」「小豆の植え方は」と真剣に考える子ども達の姿が見られました。GWの終わりには、全員が植え終わり、ひとまずひと段落。種から芽が出てくると嬉しそうにしている子もいました。この後も水やりや雑草抜き、支柱やわき目の管理などやることは盛りだくさんです。美味しい野菜が実るといいですね。



センターの畑には、サツマイモ、トマト、きゅうり、ズッキーニ、ナス、ミニトマト、ピーマン、スイカ、カボチャ、アジウリ、オクラ、唐辛子、大根、カブ、ニンジン、パセリ、トウモロコシ、サトイモ、ニラ、シソ、春菊、エダマメ、インゲンの種・苗を植えました。心を込めて、みんなでお世話していこうと思います。



職員のつづやき

地域の方にアーモンドの木を教えていただきました。試しに苗木を自宅庭に植えたところ、4月に若緑の葉が茂りはじめ、5月にはアーモンドの実っぽいものが！初めて見た！毎日成長する姿を観察するのがとにかく楽しい！
学園生も毎日成長しています。私も成長しないと…頑張ります！

センター長：桑野尚宜

「入園のつどい」時には緊張していた新入園生もあっという間に慣れ、何年も山留センターに居るような雰囲気です。これも新入生と継続生のバランスが良く（5対4）、継続生がスムーズにリードしてくれるお陰と感心します。この環境を末永く維持出来たらいいなと思う今日この頃です。

主任：竹下健

前回のスタッフ紹介で、今年目標に“料理を頑張る”と書きました。今のところは3日坊主にはならず、時間がある時にはご飯とみそ汁＋1品（副菜）を作るようにしています。少しずつではありますが、料理が楽しくなってきたので、このまま頑張りたいと思います。

指導主任：稲井祐介

先日、育てる会の全体研修に参加しました。大田は指導員3名ですが、研修では25名ほどの会職員と顔を合わせます。特に同世代の指導員の間では、子どもたちとの関わりや、得意とする自然分野の話など、刺激を受ける内容が多くありました。帰ってきた三瓶で、また新鮮な気持ちで日々を過ごしていきたいです。

指導員：浅平泰地

裏山キャンプの日、子ども達が寝静まった後に、地面に大の字に寝そべり、満天の星空を眺めました。私はこの時間が大好きです。長野で務めていた頃も、キャンプ活動の夜は、よくこうして星を眺めました。そのまま寝落ちして朝を迎えたことも。今思うと、よく熊に襲われなかったものだなあ…としみじみ思います。

指導員：土本愛果

4月7日の入園のつどいから約1ヶ月。継続生が新入生をリードして、生活もスムーズで皆仲良く楽しんでいる様です。食事の時間でも、色々な話題に花を咲かせ、苦手な物も頑張ってお食べています。GWの活動は、茶わん作りに参加。温泉津の街を散策し、砂浜で遊ぶ子ども達を見て、私も楽しい1日でした。茶碗が届くのが楽しみです。

調理：細川志津子

「くにびき通信」2026年 第2号



大田市
山村留学センター
Sanbe Kodama Academy



大田市山村留学センター
公式ホームページ



〒694-0002 鳥根県大田市山口町山口1694

TEL: 0854-86-0700 FAX: 0854-86-0701 Email: o-sanryu@city.oda.lg.jp